

授業科目	教養ゼミナ - ル	単位数	2 単位	開講学期	前期
授業科目 (英文)	Seminar in General Education	曜日・校時		科目コード	
講義題目	WWWで利用されるグラフィックス技術	<p>6. 授業計画</p> <p>第1回: ゼミの進め方についてガイダンスを行います。</p> <p>第2~4回: HTMLとJavaScriptを例にとって、講義形式で説明し、いくつかの調査テーマを提示します。</p> <p>第5回: 講義で提示したテーマ例や各自で持ち寄ったテーマを検討し、各グループの調査テーマを決定します。</p> <p>第6~9回: (第1回発表)各グループの調査結果を発表します。</p> <p>第10回: 第1回発表の補足発表を行います。第1回発表をもとに、グループ間で質疑・討論を行い、最終発表のテーマを調整します。</p> <p>第11~14回: (第2回発表)各グループの最終成果(プレゼンテーション作品と調査結果)を発表します。</p> <p>第15回: 第2回発表を補足・総括し、今後の課題をまとめます。</p> <p>7. 教科書・指定図書・参考書</p> <p>特に指定しません。必要に応じてプリントを配布します。</p>			
講義題目 (英文)	Graphics on the WWW				
教員名	香川 考司 (工学部)				
1. ゼミの概要					
<p>技術は常に進歩するものですが、特に最近のインターネットを利用するための技術の進歩は目覚ましいものがあります。</p> <p>このゼミではインターネット(特にWorld Wide Web)で利用されるグラフィックス・アニメーションなどに関する最近提案された技術の規格・ツールなどについて調べ、それを利用してプレゼンテーション作品を作成します。ツールは基本的にフリー(無料)で利用できるものを利用します。</p> <p>利用するフォーマット・言語としては、JavaScript, SVG, Flash, X3D, Javaなどが考えられますが、それ以外のものを利用しても、もちろん構いません。</p>					
2. ゼミの到達目標					
<p>新しい技術は、それに関する体系的な教科書などは出版されていないのが当然で、雑誌の記事やインターネット上の断片的な情報を自分で検索し、収集整理する必要があります。また、グループで作業するためには調べたことを他人にわかり易いようにうまくまとめて伝えることも必要になります。</p> <p>このゼミでは、このような能力を身に付けることを目標とします。</p>					
3. ゼミ及び学習の方法					
<p>最初の数回は講義形式でテーマの例を提示します。その後はグループに分かれてテーマを設定し、情報を収集します。この作業は基本的に授業時間外に行います。折り返し点でいちど進行状況を発表し、グループ間で討論します。ゼミの後半では前半で調べたことを利用し、プレゼンテーション作品を作成し、最後に発表します。またプレゼンテーションの作成方法などを最終的にレポートとして提出します。</p>					
4. 単位の認定方法					
<p>第1回発表(20点)・第2回発表(30点)・最終レポート(30点)・質問や討論への参加(20点)で評価する。</p>					
5. その他					
<p>プレゼンテーションにはノートパソコンを使用します。工学部以外の学生の人は相談して下さい。</p> <p>質問・相談などは研究室またはメールで受け付けます。</p> <p>オフィスアワー: 水曜 10:20~11:20 メールアドレス: kagawa@eng.kagawa-u.ac.jp ゼミナールは参加型の授業ですので、無断欠席は認められません。欠席は必ず連絡してください。</p>					